



大阪大学
早期・探索的臨床試験拠点

道修町の家並み—安政年間—

第1回アカデミア創薬セミナー

「セントラルIRB、成功・失敗？」

本邦のIRBは、治験を出発点として制度化され、臨床研究などを包括化した制度ではありませんでした。臨床研究の指針は研究分野や手法により分割化され、審査する側、される側の双方に扱いづらい状況です。IRBの役割は変化していませんが、審査環境は変化しています。セントラルIRBは、当初のJ-GCPでは“例外”ルールとして始まり、現在はそれが求められています。演者の少ない経験からではありますが、今後のセントラルIRBの運営や機能について議論をしたいと思います。しかし、この議論は被験者の権利、安全、福祉の保護が守られる“効率性”であり、多くの施設、研究責任医師の賛同を得られる必要があります。

2012.6.28 17:00~18:00

医学部研究棟 3Fセミナー室

福島県立医科大学附属病院 治験センター
福島県立医科大学医学部 研究推進戦略室
稲野 彰洋



主催：大阪大学 早期・探索的臨床試験拠点

厚生労働科学研究費補助金「難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業」

後援：未来医療交流会

文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム

大阪大学「TR実践のための戦略的高機能拠点整備」

大阪大学医学部附属病院未来医療センター

大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

連絡先:未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax:06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp